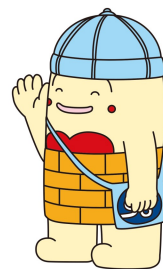


たまボラ



～しゃきょうのたまちゃんがお伝えする東大和のボランティア情報紙～

発行: 東大和市社会福祉協議会 所在地: 東大和市中央3-912-3 電話: 042-564-0012(代表)

災害を忘れない 助けられる人から助ける人へ！



被災者役宅での聞き取りの様子

3月13日、災害ボランティアセンター設置・運営訓練がハミングホールで行われました。東大和社協は、大きな災害が発生した場合、市民・市役所・関係機関等と協働で災害ボランティアセンターを設置・運営することになっています。

今回は昨年度に続き、実際の災害時にセンターを設置する予定であるハミングホールを使用し、市内各所に被災者役を配し、より実践的に実施しました。また、今回は避難所に見立てた会場も用意し、避難所支援のボランティア体験も行ないました。市民・関係者合わせて115名の参加がありました。





災害ボランティアセンターってどんなところ？

近年、各地の災害現場では、その復興にボランティアが活躍しています。昨年発生した熊本地震の被災地でのボランティアの活躍は記憶に新しいところです。当市でも災害時にはたくさんのボランティアが訪れることでしょう。ボランティアがそれぞれの特性をフルに発揮し、被災した市民の「困りごと」に応じていくことが求められます。しかし、東大和を知らないボランティアがいきなり活動することは困難です。そこで、「被災者」と「ボランティア」をつなぐための機関が必要であり、それが災害ボランティアセンターです。

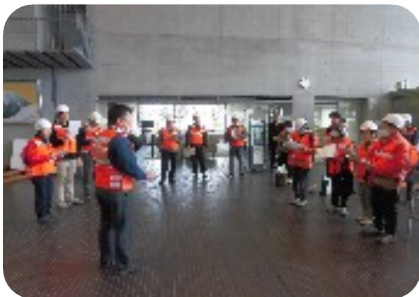
今回の訓練のポイント

- その1 実際の災害時にセンターを設置する予定であるハミングホールを使用。
- その2 市内各所に被災者役を配し、より実践的に実施。

●3月13日（月）訓練の様子をたまちゃんをご紹介します！

9:00 災害ボランティアセンターの設置

1日の流れを確認中



スタッフ役のみんながハミングホールに集合！役割を確認していざスタート！



10:00 被災者からの電話相談

被災者役の人から電話相談があったよ！スタッフはまず、お話を聴くんだね！



依頼の電話を受けている様子

11:00 スタッフが被災者のお宅へ訪問



聞き取りの様子



スタッフ役が訪問。実際に現地を見て必要な人数や道具を決めてたよ！それを紙に書いて整理していったね

お昼をはさんで・・・
13:00～
14:00



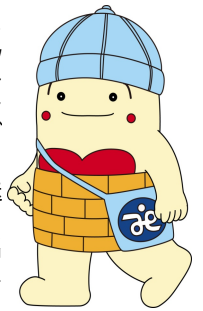
受付とオリエンテーションの様子

今回はボランティア役の人たちがセンターに到着。受付の後オリエンテーションを受けていたよ。活動する前の準備や活動中の注意なんかを教えてくれるんだ！

14:00～
14:30



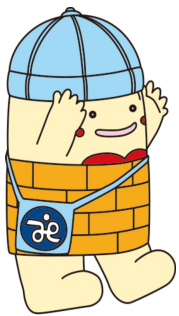
マッチングと送り出しの様子



オリエンテーションが終わると、ボランティア役のみんなに助けてほしい被災者の様子を伝えて、行先を決めていたよ。これをマッチングっていうんだ。それが終わると行先の地図や必要な道具を受け取る「送り出し」を受けるんだね！

14:30～
16:00

活動の様子



さあ、いよいよ活動！市内の色々な場所にグループで移動して、がれきや室内の片付け、傾聴、被災者への足浴とか、色々な活動を体験してきたんだ！体験が終わったらセンターに戻り反省会を行いました！

まとめ

今回は多くの市民の皆さんと災害時のボランティアについて考える事ができました。講評では、「今回は実践的な訓練ができた。より多くの市民に関心をもってほしい」との評価をいただきました。

実際に災害があった場合、被災地である当市からどれだけの人がボランティアとして活動できるかはわかりません。しかし他市、他県からの応援をどのように受け入れるのか、また困りごとを抱えているご近所やお知り合いをセンターへつなげ、課題解決に導いていくことについて理解を深めることができたのではないのでしょうか。市民が「被災者」ではなく「支援者」となることについて考える機会となりました。

災害ボランティアセンター設置・運営訓練編

今回は、災害ボランティアセンター設置・運営訓練にご参加された宮原美雪さんと石井皆子さんにお話を伺いました。それぞれの立場で参加して感じたことにご注目ください。



◆宮原美雪さん◆

【実際に災害V Cに電話してどうだったか？】

今回の訓練は、被害状況の設定がまとまっていたが、実際の災害時だったら電話をすることに少し躊躇するかもしれません。身体状態（四肢麻痺）のため、足の指を使ってダイヤルするので時間がかかります。前もって災害V Cの番号が周知されていれば、事前に登録できて安心だと思いました。

【言いたいことを伝えられましたか？】

全部は言えなかったし、言おうと思ったけど言えなかったこともあったかもしれません。災害時だったら全部を言える自信はないです。

【訓練に参加してみても率直な感想は？】

被災者役になり、半電動車いすを手動にしてボランティアに押ししてもらいました。避難所まで連れて行ってもらう設定にしましたが、実際の災害時だったら避難所に行くか自宅に留まるか迷うと思いました。避難所に行くならバリアフリーでないといけないと思います。また、福祉避難所という言葉も聞きますが、実際に詳しく知るための情報がありません。

今回訓練に参加して自分の災害時の備えが十分でないと感じました。障害者用の緊急通報装置はないので、C I L（自立生活センター）の職員以外ですぐに駆けつけてくれる人がいたらもっと安心できると思いました。



日頃から、市の防災安心メールに登録して情報収集するなど小さいことから備えていきたいです。

※災害V Cとは災害ボランティアセンターの略

◆石井皆子さん◆

午前はスタッフ役、午後はボランティア役とし

て参加しました。シナリオに基づいて役を演じるという設定です。しかし実際に参加してみるとさまざまな感情が沸き起こってきました。聞き取りが足りなかったことを悔み、ああしていればと自責もあり、得がたい経験でした。参加して下さった東大和障害福祉ネットワークの方たちのおかげで、感情の動くリアルな体験となりました。

まず午前中は聴覚障害者のお宅へ聞き取りに伺いました。見えてきた課題とはどんなものだったでしょうか。聴覚障害者の方は手話を介さないと意思の伝達ができないことに加え、家屋倒壊により右腕をケガされているという設定でした。筆談ができないということです。こちらの意思を伝えても先方の意思を受け取るのに大きな困難があるというのがポイントでした。筆談で要望をお聞きして、午後の支援につなげられたと思ったのですが、実際は被災した方の本当にしてほしいことを受け止めていなかったのです。（把握できなかったニーズは聴導犬も含めた食料支援）

この体験から二つの課題を感じています。一つは、障害の実際に合わせての構え（心だけでなくニーズの特徴を認識）が必要であり、当然専門的スキルが必要（この場合は手話）であり、さらにそれがすぐに用意できないときに補助手段を用意する支援者のスキルも必要だということです（あらかじめ当事者の意見を聞いて、ありそうな想定問答を用意しておくなど）。災害に遭ってもっとも打撃の大きい方々（障害者、高齢者、乳幼児を伴った親、外国人など）の立場に立った準備を蓄積していく必要を痛感しました。

第二に、ボランティアの主体判断の力を向上させることです。現場で想定外の事態に直面した時に、ボランティアとして何ができるかは、思考の訓練であると共に当事者性の訓練だと思いました。

ボランティア募集中!

市内の情報

継続

高齢者施設でのボランティア

音楽（合唱や演奏、踊りなど）をするボランティア、ドライヤーかけ、傾聴ボランティア。

- ◆日程 13:00~15:00の間で、都合の良い時間で、不定期でも短時間でもOK。
 - ◆場所 東大和市桜が丘4-287-1
 - ◆問合せ ツクイ東大和桜が丘
042-516-2355
担当：佐治
- ※新しく開業した施設になります。

高齢



★担当者より
活動は、不定期でも短時間でもかまいません。一度、是非お気軽にお問合せください。問合せ、お待ちしております。よろしくお願いします。

継続 再掲

高齢者のお話相手のボランティア

市内にお住まいのひとり暮らしの高齢者のお話相手のボランティア。

- ◆日程 週に1回程度
- ◆場所 市内
- ◆問合せ 東大和ボランティア・市民活動センター
TEL 042-564-0035

高齢

継続 再掲

視覚障害児の送迎ボランティア

市内に住んでいる視覚障害児を八王子盲学校まで、電車とバスを利用して送迎するボランティア。

- ◆日程 ボランティアさんの日程に合わせて活動していただけます。
- ◆問合せ 東大和ボランティア・市民活動センター
TEL 042-564-0035

障害

市外の情報

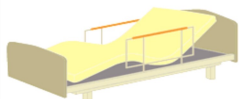
継続

高齢者施設でのリネン交換（シーツ交換）ボランティア

利用者さんのベットシーツ交換です。

- ◆日時：毎週月曜日・水曜日 10:00~11:00
 - ◆場所：特別養護老人ホーム ひかり苑
 - ◆問合せ：特別養護老人ホームひかり苑
担当 平川
042-398-1801
- ※未経験の方は、担当職員がつきます。

高齢



継続

電話相談員ボランティア募集!! あなたも聴き上手になりませんか?

いのちの電話にはたくさんの電話がかかっています。相談員になって、一緒に活動しませんか。※研修受講後、相談員として認定されてからの活動となります。まずは、お問い合わせ下さい。NPO法人東京多摩いのちの電話
TEL 042-328-4441
詳細は、ホームページからもご覧になれます。

あなたも相談員になりませんか



※掲載内容が予告なく変更または募集締め切りとなる場合があります。ご了承ください。
※このコーナーに関するお問い合わせは TEL 042-564-0035 担当 山崎 まで



● 活動助成事業

チャレンジ・アシスト・プログラムの募集中です！

若者のグループが企画・提案する活動を大募集！！

優秀な企画・提案には、その実現に向けて総額100万円を5グループに支給します。

助成の対象となる活動

1. 人とつながる活動（社会参加）
2. この社会をより良くしていこうとする活動（課題解決・社会への有益性）
3. 新しい価値を生み出す活動（創造性）
4. 継続性が期待できる、発展が期待できる活動（継続性）

応募期間：平成29年4月1日（土）～25日（火）※消印有効

※詳細はホームページをご覧ください。

主催：東京都教育委員会/

BumB東京スポーツ文化館

TEL 03-3521-7323

● ボランティア保険加入と更新のお願い

新年度を迎えるにあたって、ボランティア保険の加入はお済でしょうか。

ボランティア保険とは、活動中や往復途上でケガをされてしまい通院等が必要となった場合、金額の一部が保障されます。また、損害賠償も対象になります。

ボランティア保険は、年度ごとに加入が必要になります。ボランティア活動をしていて、まだご加入されていない方は、早めの手続きをお願いいたします。

ボラセンの個人ボランティア・グループに登録されている方は、書類を提出していただければ、加入の申し込み完了になります。



ボランティア保険についてご不明な点がありましたら、お気軽にご連絡ください。

【問合せ】東大和ボランティア・市民活動センター
TEL：042-564-0035 担当 山崎まで

市民情報etc

くじ引きもあります！

みんなの家まつり 作品市

日時：5月14日（日）

10時～14時

場所：東大和市役所中庭

内容：作業所作品の販売

体験コーナー（陶器絵付け、はんどぶれーと作りなどが体験できます）
模擬店、ミニバザー



《連絡先》 第二みんなの家

東大和市奈良橋1-276-2

TEL 042-567-0267 FAX 042-567-0258

● 手話体験講座を開催しました

3月10日（金）17日（金）に、手話体験講座を開催しました。毎年、5月から開講される手話講習会に先だって手話を体験できる講座です。手話に興味はあるけれど、いきなり一年間の講座に通うのは不安かも、と思われる市民の方のお試し講座です。

手話講習会は、4月から募集が始まります。詳細は、市報及び社協ホームページ・社協だよりをご覧ください。

【問合せ】社会福祉協議会 担当 関田まで
TEL 042-564-0012

編集部から

という訳で…、今回は災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施報告を特集してみました。

いつ起きるともかぎらない大地震。日頃の備えが、やはり大切であると、改めて感じますね。

皆さんの中にも「いつか起きるかもしれない。」という考えがあると思いますが、一度「一週間以内に起きる。」と仮定して、備えをしてみたいかがでしょうか。「明日は我が身。」自分のこととして考えてみるのが大切です。



そして「天災は忘れたころにやってくる。」といえますね。「忘れないから、やってこないでね。」とお願いしたいところです。

鎌田